

やまびこマーチで活躍 地域ボランティアがんばる緑中生

4月23日・24日に第30回飯田やまびこマーチが晴天のもと開催され、緑ヶ丘中学校生徒約20人がボランティアとして参加した。受付会場となった飯田中央公園広場で、参加者の確認を行い、

各チェックポイントではスタンプを押した。季節外れの暑さの中、参加者に元気づけようとしていた。

40キロコースのチェックポイントとなる松尾公民館駐車場で、緑中の生徒がスタンプを押しながら「どちらからお越しですか?」「暑いですが頑張ってください!」などと声をかけ、汗だくで歩いてくる人たちにもおてなしの心で接した。

勝野公民館長は「地元

中学生が気持ちを込めて温かく接したおもてなしの心が大変素晴らしいです。中学校へも報告したいと思えます」と話している。

緑ヶ丘中学校では、やまびこマーチの他にも天竜川河川清掃や松尾地区市民運動会への協力など、地域ボランティア活動を盛んに行っている。吹奏楽部においてはJ.Aみなみちゃんの広場や松尾地区文化祭などで演奏している。

「大名行列」に松尾の若者が初参加 飯田お練りまつり



発行所
飯田市松尾公民館
編集人
松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

「七年に一度の心意気」をテーマに大宮諏訪神社の式年祭礼に合わせて『飯田お練りまつり』が、3月25日からの3日間開催された。天候に恵まれたこともあり過去最多の37万人の来場者数を記録した。

メインの出し物である本町3丁目の「大名行列」に今回、松尾から2人の若者が加わった。城区の竹村凌さんと上溝区の杉野陸斗さんだ。この日同じように大名行列演技指導係として参加した勝野公民館長は、「この2人の演技は高度の

技術と熟練を要するもので、半年間にわたり毎日練習を繰り返してきました。その成果を大勢の人達に披露し、多くの拍手をいただいたことで大変満足感を得られたと思います。松尾地区から飯田を盛り上げる気持ちで、さらに演技を磨き上げていくてほしい」と語った。

寺所区・代田区の獅子も
この日は飯田下伊那地域の郷土芸能が一堂に会する機会でもあり、各々盛大に演舞を披露した。松尾地区では代田区と寺所区が、自慢の獅子を披露した。

各地で祭事が行われる

飯田お練りまつりが開催された今年、同じく7年に1度行われる御柱祭や式年例祭などの祭事が各地であった。松尾地区でも4月8日に代田区の「下ノ宮諏訪神社式年御柱祭」が行われた。区内の山林から掘り出したヒノキの御神木を、

山出しし、里曳きした後区内を巡行し区民の繁栄と健康を願って同社境内へ植樹した。

前回は御神木を軽トラで運んだが、今回はリヤカーに乗せゆっくり区内を曳いて巡行し、代田区民に披露した。9、10の両日は同社春季例大祭が行われ、飯田お練りまつりに出演した一代田獅子保存会の約130人が獅子舞巡行を行った。小学3、4年生の女兒17人による稚児踊りも披露された。



「暑いなか、おつかれさまです」

また上溝区では、4月9日「島田郷一ノ宮御社宮司社式年大祭」が行われた。獅子屋台が区内を巡行し、10力所で子ども獅子舞、花笠音頭、舞踊、キッズソーラン、ダンス信濃の国、男の火まつりなど演芸を行った。式年大祭実行委員長の

自治振興センター職員の変動

今年4月の市役所人事異動により、新しく3人が着任しました。

○保健師 久保田 恵梨

○庶務担当 小木曾 誠



○保健師 岩山 明代

○戸籍証明担当 佐藤 みどり

○戸籍証明担当 岩山 明代

○保健師 佐々木 寛子 (退職)

○保健師 佐々木 寛子 (退職)



別所弘司区長は「この祭りによって地域がひとつになり、世代間交流や地域の融和が図られることを願う」と語った。

の融和が図られることを願う」と語った。



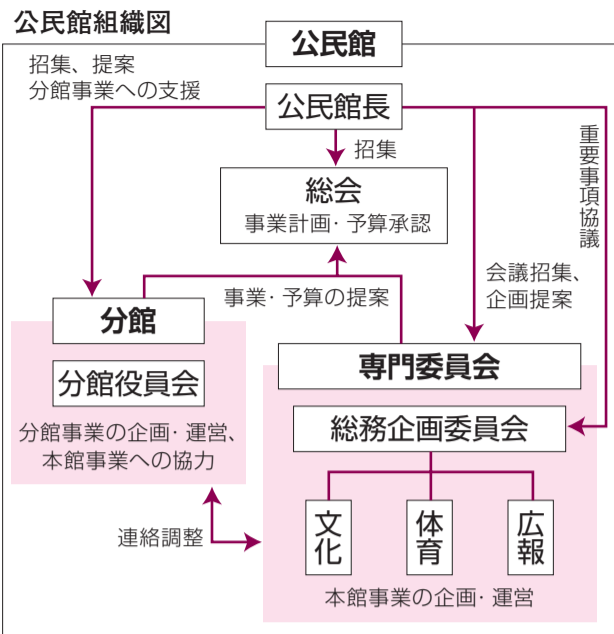
獅子と共に舞う子供たち

松風

飯田は四方を山に囲まれ、何も無いけど災害も無く住み良い所だ!と思っていたのは私だけだろうか▼4月14日、比較的安全といわれていた場所

で熊本地震が起き、甚大な被害が出てしまった。飯田は活断層も通っており、いつ巨大地震が起きてでも不思議ではない。改めて地震の怖さを痛感し、対策をしっかり考えておかななくてはならないと思った▼昨年8月に飯田市地震防災訓練を取材に行った時、日赤奉仕団の人から傘やカーテンを使った救助方法や炊き出しの工夫などを習った。出席していた人は、みな驚き、感心しきりだった。ただ気になったのは参加者は役員ばかりで、小学生・高齢者の参加はなく、安否・被害確認の報告をした後帰る人が多かったことだ▼訓練は毎年あり、やり過ぎはない。大勢の人が参加して、話を聞き意見を述べて、いざという時に備えるのが大事ではないか。避難場所まで歩いたことのない人は一度歩いてみてはどうだろうか。見なれた風景が違って見えるかもしれない。

松尾の人口
男子 6,193人
女子 6,914人
計 13,107人
世帯数 5,000世帯
5月末現在



平成28年度から公民館組織が変わります

平成28年度 まちづくり委員会 育成部 松尾公民館 各委員会の活動始まる!

松尾公民館活動の目標

- 「地域に開かれ学びあう公民館」
- ・地域課題をともに学びあう
 - ・地域の文化・体育振興、広報に努める
 - ・地域に根ざした活動をめざす
 - ・各事業を通じて地域の盛り上げを図りひいては地域の人材を育成する

そもそも公民館って何?

公民館は、憲法と教育基本法で定められた生涯の学びと教育を国民に保障する社会教育機関です。松尾公民館は長野県でも最初に設立された公民館の一つであり、飯田市の第1号公民館です。

まちづくり委員会組織の中で、公民館は学習や交流を通してのづくりや、地域資源を活かした実践活動を行うていくことで、公民館としての「役割」を果たしていきます。

総務企画委員会



☆今年度も味噌作り講座を行います。申し込みは公民館へどうぞ!

今年度の事業計画

- ◎ 公民館組織のあり方を検討する
- ◎ 分館役員研修会を行い、まちづくり委員会の中の公民館の役割について学ぶ
- ◎ 本館委嘱委員研修会を行い本館委嘱委員の役割について学び、各委員会活動の活性化につなげる
- ◎ 公民館事業への協力として、地区内にある遊休農地を利用して、農作物の栽培、収穫、加工等を通じて地域交流、親子のふれあい、食物の大切さを学ぶ

体育委員会

- ### 今年度の事業計画
- ◎ 公民館役員（指導者）対象ニユースポーツ講習会
 - ◎ 分館対抗ニユースポーツ大会
 - ◎ 松尾地区市民運動会
 - ◎ 分館対抗ふらばるるバレー大会
 - ◎ 緑ヶ丘中学校区体育委員交流会（スポーツ推進委員主催）
 - ◎ 緑ヶ丘中学校区スポーツ推進委員企画応急処置講習会
 - ☆ 飯田市公民館事業
 - ☆ 飯田市女性バレーボール大会
 - ☆ 団体事業
 - 松尾バレーボール連盟前期・後期大会

広報委員会



☆昨年度に引き続き、松尾のいいところ・いい人いいものをさがしていきます。
☆文化祭広報委員会企画もお楽しみに!

今年度の事業計画

- ◎ まつお新聞 235号発行（7月1日）
- ◎ まつお新聞 236号発行（10月1日）
- ◎ まつお新聞 237号発行（1月1日）
- ◎ まつお新聞 238号発行（3月31日）



☆各種大会へのご参加をお待ちしています。

文化委員会



今年度の事業計画

- ◎ 親子のコミュニケーションを深める機会として「親子映画鑑賞会」を開催
- ◎ 「飯田人形劇フェスタ2016」(8月2日〜7日)
- ◎ 文化祭の特別企画を別の日に行い、地元の子供や社会人の演奏を聴く機会を設けることを目的に、秋の文化企画「松尾音楽祭」実施
- ◎ 新企画「お手軽カメラで写真展」
- ◎ 「文化祭」(2月4日・5日)
- ◎ 「松尾地区成人式」(1月8日)
- ◎ 舞踊、民謡など踊りという共通の趣味を通じて交流を図ることを目的に「松尾踊ってみよう会」開催

☆お手軽カメラで写真展

テーマ「松尾のイチオシ」

皆さんが松尾のイチオシと思うものを、携帯電話、デジタルカメラなどで気軽に撮影し、公民館へお送りください。人物・場所・風景等松尾で撮ったものなら、何でも構いません。募集は12月頃に行う予定ですが、今から写真を撮ってみてください。詳細については、また組合回覧等でお知らせします。



雨上がり「降りるとぬれちゃうにゃ〜」

分館役員会会長 康野公則



平成28年度分館役員会の会長を務めさせていただき、まず新井分館の康野です。昨年度は分館役員会副会長として会長の補佐をしてまいりました。分館長として初年度であり、試行錯誤し例年の申し送りどおり分館行事をこなし、一杯でした。一年を経まして分館の公民館運営での立ち位置など多くなり理解することができました。公民館と区の間、世代間のつなぎ役としてお役に立ちたいと考えております。また、このよ

うな大事な立場にある分館長として他地区の行事等を全く知らない状況ではないかと考えて、本年度から分館長会会議を企画し、開催することにいたしました。お互いに他地区の活動などを参考にし、分館運営の補助として新規事業等の企画をしていければと考えております。ややマンネリ化した分館事業の活性化が図られればと考えています。何卒皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



分館長集合

毛賀区 俳優堀田眞三氏 トークショー 芸能界裏話も



6月4日毛賀区民会館において、俳優の堀田眞三氏を招き講演会が行われた。堀田さんは、出演した水戸黄門・暴れん坊将軍などの裏話をコミカルに話し、会場を沸かせた。また違法薬物は絶対だめと力強く訴え、健康が一番大

事だと語った。講演に先立って、毛賀区と代田区の交流で代田ギタークラブが出演し、昭和歌謡曲4曲を披露。100人の来場者も一緒に歌い楽しんだ。



6月11日飯田市教育委員会事務局「おもしろ科学工房」主催の安全講習会が、森公園内において行われた。松尾サイエンススクールや出張サイエンスなどに参加できることを目的に、松尾

子供たちが安全に楽しむために 松尾サイエンススタッフが安全講習会に参加

6月11日飯田市教育委員会事務局「おもしろ科学工房」主催の安全講習会が、森公園内において行われた。松尾サイエンススクールや出張サイエンスなどに参加できることを目的に、松尾



AEDを準備の間に胸骨圧迫

サイエンススタッフが4人参加した。この日は飯田広域連合羽場分署の松下高徳氏を講師として、心肺蘇生術やAEDの使い方、怪我の応急処置などについて講義が行われた。また、6月12日は上溝区と久井区がそれぞれベタタンク大会を開催し、約200人が参加した。勤労者体育館で囲碁ボールを、サブグラウンドでベタタンクをそれぞれ楽しんだ。同日、寺

八幡町公会堂で5月28日に、輝山会記念病院院長の原修先生による文化講演会が行われた。「健康寿命を大切に元気に長生きしよう」と題した話に41人が聴き入った。原先生は「誰の世話にもならないで生活できる健康寿命と平均寿命の間には、



健康寿命とはね

男性で約9年、女性で約13年の差がある。誰もが最後まで健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、自主的に体の健康を管理し、大きな病気をしないで長生きしよう」「がんは、検診を受けて早く発見しよう。今は助かる人が多いため早期発見が必要。胸部CTだとレントゲンより10倍発見が多い。また、内視鏡検査を受けピロリ菌検査をし、除菌すれば、胃がんのリスクも減る。早期発見により、胃がんは5年生存率が71.4%まで高くなる。今は開腹手術しないで内視鏡で腫瘍が取れるので、身体への負担も少ない」と話した。また地域包括ケアシステムなどの話もあった。最後に参加者から血圧のことや糖尿病についての質問もあり、改めて健康を考えさせられる時間となった。

八幡町区 人の死亡率は100% 大切なのは健康寿命

ニュースポーツが各地で行われた。5月15日、常盤台区は矢高グラウンドで親睦ベタタンク大会を行い100人が参加した。29日は明区が伍組対抗ニュースポーツ大会を開催し、約200人が参加した。勤労者体育館で囲碁ボールを、サブグラウンドでベタタンクをそれぞれ楽しんだ。同日、寺



矢高グラウンドで「常盤台区」

ニュースポーツが各地で盛んに!

公民館の主な行事予定 (7月~9月)
【7月】
2日(土) 親子映画鑑賞会
16日(土) ラフティング
【8月】
2日(火)~7日(日) いいだ人形劇 フェスタ2016
体験教室

松尾図書館 (公民館2階)
開館日 水曜 午後1~5時
土曜 午前10~午後5時
日曜 午後1~5時
本のリクエストも受けつけています。

まちづくり委員会総会開催 各部で新たな取り組みも!

平成28年度松尾地区まちづくり委員会第1回総会が、5月13日松尾公民館ホールで開催された。総務部、地域振興部、公民館育成部などから、平成27年度事業報告と決算報告があり、引き続き平成28年度事業計画と予算案が読み上げられ、すべての議案は原案どおり承認された。

今年度は新たに「空き家対策の推進」、ゾーン30の設定に関する「交通安全の推進」事業が計画されており、まちづくり委員会小木曾会長は、「重点事項である国道151号の渋滞解消対策、産業道路等の道路改良などに力を入れていきたい」「各部の新しい取り組みにも力をつくしたい」とあいさつの中で意見を述べた。

小木曾会長あいさつ



27年度で1期目の任期が終わり、今年度より2期目の会長職を仰せつかった毛賀の小木曾です。皆様のご支援ご協力をいただきながら、まちづくり委員会の活動を進めて参りたいと存じますので、よろしくお願ひ申し上げます。

松尾地区まちづくり委員会重点目標

少子化・高齢化が急激に進行し、日本全体が人口減少時代に突入する中であり、松尾地区は先人の努力により、飯田市内でも有数の暮らしやすい地区として発展し、活気ある地区となっている。松尾地区においても、リニア時代を見据えて行動する重要な時期であり、個性的で存在感があり、安心して住み続けられる地域づくりを着実に進める必要がある。これらの思いを込めて次の重点目標を掲げる。

◎みんなが心と力を合わせる元氣なまちづくり

- ・多様な主体が連携協力した事業の実施
- ・地域活動への参加意識の高揚
- ・元氣の出る取り組みの推進

◎安心して暮らせるまちづくり

- ・内水排除対策や防災対策の強化
- ・土地利用計画及び道路整備計画の検討
- ・安心安全な地域づくりの推進

◎子供から高齢者まで健やかに暮らせるまちづくり

- ・「松尾の子どもは松尾で育てる」教育支援の推進
- ・あいさつ・みまもり運動の推進
- ・「生涯現役」健康福祉事業の推進

今年度も、例年通りの事業を推進していきます。元氣で、安全安心なまちづくり、健やかに暮らせるまちづくりを重点目標に、諸事業を計画しておりますので大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

また、地震、風水害等、日本列島各地で甚大な被害が発生している状況を踏まえ、こうした災害への備え、訓練、防災意識の啓発事業などにも力を入れていくことを考えています。当然のことながら、防火・防犯・交通安全など、毎日の身近な安全意識の向上にも皆様と共に、取り組んで参りたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

平成28年度 重点事項・活動計画 まちづくり委員会(本会)

【重点事項】

- ① 国道151号線の渋滞解消
- ② 産業道路(市道1-53号)

線)を活用した広域道路網の検討

- ③ グリーンベルトの保全
- ④ 内水排除対策
- ⑤ 防災対策の確立

【活動計画】

- ① 総会 年2回開催
- ② 企画会議 毎月7日開催
- ③ 推進会議 毎月20日開催
- ④ 本会事業 飯田建設事務所等との懇談、学校支援ボランティア事業、やらまいか松尾まちづくり活動助成事業
- ⑤ その他 研修事業、飯田市まちづくり委員会連絡会への参加、近隣まちづくり委員会代表会議への参加、各種団体事業への参画及び助成



H28 まちづくり委員会総会

総務部

【重点事項】

- ① 鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ事業
- ② グリーンベルトの保全



H27 紅葉ライトアップ事業イベント

【活動計画】

- ① 鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライト

平成28年度 推進会議 役員



役職名	備考	氏名	地区
会長		小木曾博人	毛賀
副会長		岡田 明	久井
副会長(会計)	代田区長	宮澤 直人	代田
公民館長	公民館育成部長	勝野 薫	水城
総務部長		岡島 俊廣	新井
総務部副部長		宮澤 里子	清水
地域振興部長	新井区長	丸山 貞夫	新井
生活安全部長		松山 彦志	上溝
交通安全部長		鈴木 幹夫	上溝
環境衛生部長		窪田 利光	常盤台
健康福祉部長		米山 壽美人	代田
青少年健全育成会長		松澤 秀明	代田
地域振興部	上溝区長	別所 弘司	上溝
地域振興部	久井区長	片桐 善治	久井
地域振興部副部長	水城区長	塩澤 良明	水城
地域振興部	寺所区長	宮澤 芳明	寺所
地域振興部	明区長	中村 茂男	明
地域振興部副部長	清水区長	佐々木頼勇	清水
地域振興部	城区長	熊谷 昭夫	城
地域振興部	八幡町区長	松村 幸一	八幡町
地域振興部	毛賀区長	木下 幸文	毛賀
地域振興部	常盤台区長	大谷 榮造	常盤台
財産区管理委員長	総務部	安野 正和	代田
相談役	市議会議員	村松まり子	八幡町
相談役	市議会議員	森本 政人	新井
相談役	市議会議員	木下 徳康	毛賀
特別推進員	消防団第5分団長	市瀬 秀夫	水城
特別推進員	日赤奉仕団松尾分団長	前沢 節子	城
特別推進員	松尾地区民生児童委員協議会長	清水 正則	明

アップ事業の実施

- ② グリーンベルトの保全管理活動(4地区それぞれのルールや保全方法の検討)
- ③ 松尾地区財産区有林の管理
- ④ 区と連携したあいさつ・みまもり運動の実施
- ⑤ 地域行事の企画・立案
- ⑥ その他 情報共有のため定期的に部会の開催、研修等の実施ほか

地域振興部

【重点事項】

- ① 道路・水路等の改良補修の促進
- ② 内水排除対策の推進
- ③ 空き家対策の推進
- ④ 組合未加入者の加入促進
- ⑤ 活力ある地域づくり

【活動計画】

- ① 道路・水路等の改良補修の促進 松尾地区重点箇所について市・県への要望、市担当部局との懇談会の開催、国道151号と256号交差点に起因

する渋滞解消対策、産業道路(市道1-53号線)を活用した広域道路網の検討、国道256号歩道改良及び安全対策の促進、(県道新井伊那八幡(停)線「みさとや交差点」の改良促進

- ② 内水排除対策の推進 排水ポンプ稼働訓練(年2回)、地区内水路・雨水渠・非常排水路等の視察、内水排除対策の推進
- ③ 空き家対策の推進 空き家の実態調査及び対策を検討
- ④ 組合未加入者の加入促進 機会を捉えた加入推進活動の実施、自治活動組織の加入促進コーディネーター事業等の活用
- ⑤ 活力ある地域づくり 各区の情報交換、連携した地域づくり、あいさつ・みまもり運動への参画、各部との連携の推進、産業団体(商工団体、農業団体)まちづくり協力団体との懇談や情報交換

生活安全部

【重点事項】

- ① 防火活動
- ② 防犯活動
- ③ その他 自主防災組織の強化と防災備品の共同購入の推進、各区組織の見直しや各区役員のあり方検討ほか

【活動計画】

- ① 防火活動 防火対策事業
- ② 防犯活動 防犯対策事業、防犯灯維持管理事業、地域安全大会
- ③ その他 啓発活動、消防機関及び警察機関等への協力

交通安全部

【重点事項】

- ① 交通安全の推進のための啓発や活動

【活動計画】

- ① 交通安全の推進のための啓発や活動、交通安全期間中の広告活動等の実施、



ゾーン30が設定されます

チャイルドシートの装着率向上活動、歩行環境シミュレーター等活用による啓発活動、ゾーン30設定に向けた広報活動

- ② 飯伊交通安全協会等の活動
- ③ 交通安全施設の設置、修繕、交通規制要望及び維持管理
- ④ 交通安全全般
- ⑤ その他 啓発活動、学校教育機関等が開催する交通安全教室への協力、催事等への交通警備の協力、消防機関及び警察機関等への協力ほか

環境衛生部

【重点事項】

- ①ごみの分別と出し方の徹底、廃棄物の減量、リサイクル
- ②環境美化
- ③河川浄化
- ④公害防止

【活動計画】

- ①ごみの分別と出し方の徹底、廃棄物の減量、リサイクル、ごみ集積所管理事業、リサイクルステーション管理事業、3R推進事業の実施、指導者研修、啓発活動
- ②環境美化 ごみゼロ運動の日、全市一斉水辺等美化活動
- ③河川浄化 天竜川・毛賀沢川堤防美化活動 天竜川環境美化活動
- ④公害防止 井戸水（一般

飲料水（水質検査の斡旋、不法投棄防止対策活動



H27 天竜川・毛賀沢川堤防美化活動

健康福祉部

【重点事項】

- ①松尾地区のまちづくり重点目標と福祉健康の基本理念にある、地域に住まう全ての住民が、安心して健やかな生活が出来る環境と優しさのある地域社会づくりを目指して、地域福祉及び地域住民の健康の増進を図る

【活動計画】

- ①社会福祉委員会 ふれあいサロンや敬老福祉事業、見守り活動、一人暮らし高齢者のふれあい昼食会や高齢者のための料理教室、在宅介護者元氣回復事業、介護予防教室卒業者を対象としたフォローアップ事業、移送サービス事業、松尾地区の社会福祉に寄与するため、社会福祉団体等への協力支援、赤い羽根共同募金事業への協力、委員の研修会実施ほか
- ②保健推進員会 健康講演会実施、各地区健康講座実施、推進員の研修会実施ほか

公民館育成部

【重点事項】

- ①住民交流の場である分館活動のサポート
- ②松尾の地域課題や生活課題を学ぶ「松尾セミナー」の充実
- ③松尾地区の文化・体育・広報活動のさらなる振興
- ④まちづくり委員会の中で公民館が果たす役割としての学習と実践
- ⑤各種団体との交流・連携・支援

◆育成会◆

- ◎心身ともにたくましく健康なかで、人情豊かな青少年の育成
- ①子供たちを健全に育てるための活動の場の提供

【活動計画】

- ①松尾少年スポーツクラブ等の育成及び活動支援、PTA活動・地区活動への協力、「松尾の子どもは松尾で育てる」意見交換会の実施
- ②行事部 育成会主催の文化的・体育的行事の実施、松尾地区文化祭
- ③教養部 あいさつ運動の推進、松ぼっくりの池の管理、本会計
- ④広報部「育成会便り」の発行

※公民館の活動計画は本紙2・3面に

平成27年度 まちづくり委員会会計決算（概要）

収入の部		
項目	金額	説明
会費	1,970	1戸年間6,000円
パワーアップ地域交付金	1,014	飯田市交付金
その他補助金等	1,130	ほっ湯アップル配分金、財産区交付金ほか
前年度繰越金	347	
基本繰入金	300	まちづくり委員会基金ほか
雑収入	79	各種交通警備謝礼、自治会保険各区負担金ほか
収入合計	4,840	

支出の部		
項目	金額	説明
本会費	2,183	役員報酬、駐車場借地料、相撲土俵整備費ほか
総務部	164	小学校区有林見学、各種地域行事費ほか
地域振興部	431	文書配布業務交付金、産業振興ほか
生活安全部	185	松尾地区安全大会経費、防犯灯新設工事費ほか
交通安全部	144	交通安全教室、道路反射鏡清掃作業費ほか
環境衛生部	294	ごみ集積所管理費、天竜川環境美化活動費ほか
健康福祉部	303	敬老福祉事業補助金、ふれあいサロン補助金他
公民館育成部	778	各種公民館事業費、育成会事業費ほか
支出合計	4,482	

項目ごとに1万円単位に四捨五入しているため、各項目の計は合計と一致しないことがあります。歳入総額4,840万円ー歳出総額4,482＝358万円（次年度繰越金）

空き家調査始まる

空き家の増加が全国的に問題となっている。飯田市でも6000戸以上の空き家が存在する。放置され、管理不全の状態になった空き家は、防火防犯などの問題を生じさせ、地域コミュニティの活力低下の要因となる。

平成24年、飯田市が特に危険な空き家に関して「危険な空き家調査」を行った。今回はすべての空き家・空き店舗を再確認することを目的に、取り組むこととなった。

今後は、個人で管理活用できないものを市で行うのか、まちづくりで行うのかといった問題も出てくるだろう。

食品販売店が……

6月8日、松尾地区でまた食品販売店が姿を消した。それを知った近隣住民は、



シャッターが開く日は来るのかなあ

とつさに「買い物難民になっちゃう」と第一声を上げた。「八幡でも一人暮らしの人がたくさんいるが、その人たちはどうするのか。地域として何か考えていかないと」と話していた。



写真：南信州新聞社提供

新聞配達員による見守り活動

松尾地区民生児童委員協議会と、松尾にある新聞販売店（信販販売センター）ふれあいネット飯田支店、中日新聞松尾専売所の2店は、新聞配達員による高齢者を中心とした見守り活動について、3月28日に協定を結んだ。高齢者の誰もが安心して暮らし続けられる



一斉放水

非常招集訓練

5月15日、飯田市消防団第5分団（松尾分団）による非常招集訓練が新井コミュニティ消防センターを火災想定場所として行われた。消防自動車の出動により、放水訓練や伝達訓練、日赤奉仕団員とともに救急救護訓練などが行われた。市瀬秀夫分団長は「新年度体制が替わり初めての訓練。有事の際に素早く行動できるように、これからも意義のある訓練を行っていきたい」と語った。

松尾少年スポーツクラブ等結団式 体幹トレーニング

4月3日松尾少年スポーツクラブ等結団式(松尾地区育成会主催)が、松尾小学校で行われた。今年度は「子どものためのスポーツトレーニング体験会」が盛り込まれ、参加者は講師の嶽野英樹さん指導のもとで体幹トレーニングの基礎を体験した。

結団式には松尾少年スー 小中学生と指導者らが参加。スポーツ12クラブに加入する一し、決意表明とクラブ紹介



嶽野さん(右)による講習

「このトレーニングを練習に生かして、小中学校教師による合同授業が行われた。その後、分散会で教科書を持ち寄って授業づくりについて話し合った。緑ヶ丘中学校の村澤資憲校長は「小学校の先生が中学校へ、中学校の先生が小学校に行って授業をする」ことで、小学生は中学校への進学に対する不安が少しでも取り除かれることもあるだろう。今回のような子供の姿を通しての研究や情報交換を、それぞれの学校が活かし合っていくことが大切」と話している。

が行われ、続けて嶽野さんの指導により、動的な体幹トレーニング方法を学んだ。嶽野さんによると、近年は上手に体を動かさない子供が多く、競技練習をやっても十分に効果を発揮することができない。体幹トレーニングを練習の前に行うことで、競技力を向上させることができる。例えば、素早くまっすぐ一列に並ぶことや大きな声を出すことなども運動能力が必要で、体幹を鍛えるとそのような動きも自然に身につく。最高の状態で練習に臨めるように、しっかりと汗をかくことが大切とのことだ。体験会の後のクラブ見学会では、希望して嶽野さんの個別指導を受けた。それぞれのクラブもあり、それぞれが「このトレーニングを練習に生かして、小中学校教師による合同授業が行われた。その後、分散会で教科書を持ち寄って授業づくりについて話し合った。緑ヶ丘中学校の村澤資憲校長は「小学校の先生が中学校へ、中学校の先生が小学校に行って授業をする」ことで、小学生は中学校への進学に対する不安が少しでも取り除かれることもあるだろう。今回のような子供の姿を通しての研究や情報交換を、それぞれの学校が活かし合っていくことが大切」と話している。

いきたい」と意気込んでいた。松澤秀明育成会長は「松尾育成会に所属する少年スポーツクラブや教室の指導者は全て松尾に住む人たちで、これは『地域の子どもは宝』の思いが根底にあるからでしょう。これこそがまさしく『松尾の子どもは松尾で育てる』の実践であり、その子供たちを支えている大人の皆さんこそが松尾の財産であると、私は思っています」と語っていた。

松尾公民館柔道クラブ

長野県から表彰

松尾公民館柔道クラブが、スポーツの普及と振興のため多大な貢献をしたとの功績で、長野県体育協会から平成27年度表彰を受けた。長年の地道な活動に加えて、大会で多数の入賞を果たしたことが評価された。クラブは井川晃さんを代表とし3人の指導者のもと、毎週火曜と金曜に練習を行っている。「みんな厳しい練習を頑張っている。中学生が小学生を教えるといった縦のつながりが、上を目指す力になっっている」と思う」と井川さんは語る。

練習は厳しく真剣に取り組むが、休憩時間には笑顔が絶えない柔道クラブである。



柔道場に元気なかけ声

毎週火曜と金曜に練習を行っている。「みんな厳しい練習を頑張っている。中学生が小学生を教えるといった縦のつながりが、上を目指す力になっっている」と思う」と井川さんは語る。

初夏の日差しのもと、記念写真の撮影が行われた。

平成28年度 還暦の会

5月29日松尾地区還暦の会が、松尾公民館と還暦の会実行委員会の主催により行われた。

午前11時から鳩ヶ嶺八幡宮において、昨年度還暦を迎えた62人(該当者は151人)が参加して祈願祭が厳粛に行われた。終了後は

撮影後は会場をマリエール飯田に移し、式典と祝賀会を行った。式典では、長机11台が公民館ホール用として松尾公民館へ寄贈された。これは、実行委員会からの記念事業の提案に賛同した124人による寄付金



祈願祭の後の御神酒

6月2日、強い風の吹く中開催され、地元の小中学生や中学生らが小旗を振って応援した。



身を乗り出して応援する緑中生

ふれあいひろば
▼ニユースポーツ講習会
5月15日、ニユースポーツの体験と分館事業への新種目導入のきっかけづくりを目的にニユースポーツ講習会が行われた。
▼ツアー・オブ・ジャパン



松尾区民の期待を背負って

人物とほみや

108

松本山雅へ

明区

下平治輝さん (16歳)

サッカー者の中から唯一合格した明区の下平治輝さん。小学校2年生から始めたサッカー、県代表にも何度か選ばれ、才能は以前から高く評価されていた。中学校卒業を前に、自分の実力を試すために、U-18セレクトションに挑戦、見事合格。家族はもとより、本人も驚きを隠せなかったという。

今は山雅の寮で生活し、高校の勉強との両立に忙しい毎日を送っている。両親は「ケガに気をつけて頑張ってほしい」と活躍を期待している。